



令和元年 9月 1日

第 153号

◇ 平成30年度標茶町社会福祉協議会事業報告 ◇

近年の福祉を取り巻く環境は、家族機能の変化、価値観の多様化などを背景として、地域における支え合いの機能は脆弱化し、地域社会においては、様々な生きづらさ、暮らしづらさを抱える人々が増えています。

例えば、ダブルケア（育児と同時に親等の介護を担うこと）、8050問題（80代の親が50代のひきこもりの子どもの生活を支えるという問題）、ゴミ屋敷、子どもの貧困や虐待などは、いずれも地域社会からの孤立が背景となっているとともに、従来の高齢者、障がい者、児童といった各福祉分野の垣根を超え、公的な支援だけでは対応が困難な課題であるという共通点が指摘されています。

こういった地域社会の変容と直面する課題に対応するためには、国においては、制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が『我が事』として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて『丸ごと』つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会、すなわち「地域共生社会」を実現することを、社会保障・社会福祉の基本理念として掲げ、体制整備が進められています。

社会福祉協議会は、地域福祉の推進役として、地域の課題、住民の生活課題への対応と解決に向けた取り組みを、行政、関係団体、住民と連携、協力して行う必要があります。

地域福祉の中核組織を担う本会は、地域住民、行政、福祉施設や福祉団体、ボランティア、民生児童委員、NPO法人など様々な関係機関・団体と連携、協働しながら、第6期地域福祉実践計画の基本目標である「ともに支え合う、安心・安全・福祉のまちづくり」という活動理念の実現を目指す組織としてのネットワークを生かした地域福祉活動を推進し、住民に信頼・理解される社会福祉協議会づくりに努めて参りました。

以下、4つの事業実施方針に基づく取り組み結果及び事業評価について報告致します。

1. 基盤強化について

各種福祉施策は、地域福祉や社会活動のあり方に大きく影響を及ぼすものであり、それらに対応できるよう3部会（総務部会・厚生部会・地域改善ボランティア部会）、正副会長会議、理事会・評議員会を開催し、役職員一体となった組織運営を行うとともに、地域福祉セミナー及び役職員研修会を受講し、役職員の資質向上に努めて参りました。又、財政については、補助金・委託料の趣旨を踏まえた効果的な業務執行に努めました。

2. 住民参加、協働による福祉について

「誰もが暮らしやすい地域づくりの推進」をするため、各種制度・施策の動向や地域の取り組みなど、継続した事業展開から課題（ニーズ）を把握し、関係機関と共有しながら、地域住民に密着した事業推進を図りました。

ボランティア活動内容については、ボランティア実践者の高齢化などの課題はあるものの、ボランティアセンター運営委員会を再構築し、ボランティア活動推進についての議論を活発化しています。

中高生を対象に、総合的な学習として、車椅子体験、高齢者疑似体験、手話体験など出前講座を実施しました。児童・生徒の皆さんが高齢者福祉等の知識や技術を習得する涵養の一助となるよう、今後も関わりを重視して参ります。

愛情銀行に預託された金品についても、厳しい経済状況の中、ご協力をいただきました。

広報誌「ふれあい」とボランティアセンター情報誌「自遊時間」については、社会福祉協議会の事業実施状況なども含め計画どおり発行いたしました。

又、ホームページによる、より身近な広報活動を行いました。引き続きタイムリーな情報提供に努めて参ります。

社協史の編纂については、理事会で設置した「編纂特別委員会」を開催しながら、編纂委員による編纂作業を推進して参りました。

平成30年度標茶町社会福祉協議会法人運営事業会計収支決算書

勘定科目	当初予算額	補正予算	最終予算額	決算額	差異
会費	760,000	0	760,000	893,200	△ 133,200
個人会費収入	262,000	0	262,000	290,200	△ 28,200
特別会費収入	400,000	0	400,000	500,000	△ 100,000
賛助会費収入	98,000	0	98,000	103,000	△ 5,000
寄付金収入	953,000	0	953,000	712,239	240,761
一般寄付金収入	803,000	0	803,000	482,611	320,389
経常経費寄付金収入	150,000	0	150,000	229,628	△ 79,628
経常経費補助金収入	43,387,000	0	43,387,000	43,387,161	△ 161
国庫補助金収入	0	0	0	0	0
都道府県補助金収入	0	0	0	0	0
市区町村補助金収入	43,387,000	0	43,387,000	43,387,161	△ 161
共同募金配分金収入	2,721,000	0	2,721,000	2,787,018	△ 66,018
一般募金配分金収入	1,791,000	0	1,791,000	1,791,000	0
歳末たすけあい配分金収入	930,000	0	930,000	996,018	△ 66,018
受託金収入	3,285,000	0	3,285,000	2,839,940	445,060
市区町村受託金収入	3,104,000	0	3,104,000	2,474,540	629,460
都道府県社協受託金収入	181,000	0	181,000	365,400	△ 184,400
貸付事業収入	150,000	0	150,000	53,000	97,000
償還金収入	150,000	0	150,000	53,000	97,000
事業収入	1,171,000	0	1,171,000	1,721,290	△ 550,290
利用料収入	1,171,000	0	1,171,000	1,721,290	△ 550,290
受取利息配当金収入	1,000	0	1,000	2,351	△ 1,351
雑収入	3,032,000	0	3,032,000	430,786	2,601,214
事業活動収入計(1)	55,460,000	0	55,460,000	52,826,985	2,633,015

事業活動による収支

収入の部

3. 福祉課題の把握と先駆的な事業の開発について

地域の福祉ニーズに基づく先駆的な取り組みを目指し、制度内の福祉サービスでは対応しにくい新たな福祉課題・生活課題を把握し、多様な事業展開に努めて参りました。

「ほ〜っとサロン」事業については、安否確認も目的の一つでもある給食宅配サービス、布団乾燥サービスの利用者とボランティアの交流を目的とし、多くのボランティアのご協力をいただきながら実施しました。引き続き地域の福祉課題の把握に努めて参ります。

福祉金庫資金及び助け合い資金の貸付事業は、町民の応急的な生活資金として利用・活用されました。これら事業について今後も引き続き実施するとともに、福祉の専門知識を生かした、資金貸付だけにとどまらない、利用者の様々な背景に意を配すべく事業支援を図ります。

心配ごと相談所事業は、月曜日から金曜日まで（祝祭日を除く）の随時受付相談を、相談員の協力をいただき実施しました。

今後も、町民の方々が抱える悩みが解決できるよう事業を継続し、検討して参ります。

4. 地域に根ざした福祉サービスの支援体制について

地域の福祉サービスを検証し、利用者本位の福祉サービスの実現に向け、利用者の立場に立ったサービスと地域住民に密着した効果的な支援体制の確立に努めて参りました。

指定居宅介護支援事業所については、引き続き利用者の立場に立った支援とサービスの向上、事業増収に努めて参りました。

高齢や障がい等により判断能力が十分でない方の権利を守る成年後見制度等の利用支援を行う「標茶町安心サポートセンターまもる」については、相談申し立て支援、市民後見人養成等支援、日常生活自立支援事業、法人後見等を実施しました。引き続き各種機会を通じ事業周知に努めるとともに、町民の権利が守られるよう各関係機関と連携を図りながら事業を推進して参ります。

子育て支援活動としての、「標茶町子育てサポートセンターまーぶる」の取り組みについては、依頼会員と提供会員において事業実施を行いました。引き続き事業拡大のため事業周知に努めるとともに、関係機関と連携を図りながら会員の新規会員登録の促進等を行い、安心・安全な事業を推進して参ります。

災害ボランティア関係では、災害に備えるため、災害ボランティアコーディネーター養成・資質向上研修会及び災害ボランティアセンター初期支援チーム研修会を受講するとともに、胆振東部地震災害支援として、昨年9月28日～30日の3日間、厚真町へ職員1名を派遣して参りました。

平成30年度標茶町社会福祉協議会法人運営事業会計収支決算書

勘定科目		当初予算額	補正 予算	最終予算額	決算額	差異	
事業活動による収支	支出の部	人件費支出	37,166,000	0	37,166,000	36,884,014	281,986
		事業費支出	6,551,000	0	6,551,000	5,335,246	1,215,754
		事務費支出	9,884,000	0	9,884,000	8,768,421	1,115,579
		貸付事業支出	150,000	0	150,000	80,000	70,000
		共同募金配分金支出	1,961,000	0	1,961,000	1,987,792	△ 26,792
		一般募金配分金事業	1,031,000	0	1,031,000	1,012,240	18,760
		歳末助け合い配分事業	930,000	0	930,000	975,552	△ 45,552
		助成金支出	710,000	0	710,000	650,000	60,000
		負担金	100,000	0	100,000	192,000	△ 92,000
		雑支出	0	0	0	1,022	△ 1,022
事業活動支出合計(2)		56,522,000	0	56,522,000	53,898,495	2,623,505	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		△ 1,062,000	0	△ 1,062,000	△ 1,071,510	9,510	
福祉運用積立預金収入		0	0	0	0	0	
固定資産取得支出		0	0	0	115,560	△ 115,560	
固定資産除却・廃棄支出		0	0	0	0	0	
ファイナンスリース料		726,000	0	726,000	369,360	356,640	
施設整備等による収支差額(4)		△ 726,000	0	△ 726,000	△ 484,920	△ 241,080	
人件費積立資産取崩し収入		0	0	0	0	0	
福祉運用積立資産取崩し収入		2,500,000	0	2,500,000	0	2,500,000	
コスモス積立資産取崩し収入		0	0	0	0	0	
サービス区分間繰入金収入		0	0	0	2,370,770	△ 2,370,770	
道民間共済退職金返還金収入		0	0	0	0	0	
その他の活動による収入(5)		2,500,000	0	2,500,000	2,370,770	129,230	
退職給付引当資産支出		0	0	0	0	0	
人件費積立資産支出		0	0	0	95	△ 95	
福祉運用積立資産支出		0	0	0	0	0	
コスモス積立金支出		0	0	0	0	0	
社協運営基金積立資産支出		0	0	0	28	△ 28	
事業運営安定積立資産支出		0	0	0	42	△ 42	
拠点区分間繰入金支出		0	0	0	0	0	
サービス区分間繰入金支出		0	0	0	2,370,770	△ 2,370,770	
道民間共済退職預け金支出		712,000	0	712,000	666,180	45,820	
自動車リサイクル預託金支出		0	0	0	0	0	
その他の活動による支出(6)		712,000	0	712,000	3,037,115	△ 2,325,115	
その他活動資金収支差額による収支計(7)=(5)-(6)		1,788,000	0	1,788,000	△ 666,345	2,454,345	
当期資金収支差額合計(8)=(3)+(4)+(7)		0	0	0	△ 2,222,775	2,222,775	

前期末支払資金残額(9)	3,701,857
--------------	-----------

当期末支払資金残額(10)=(8)+(9)	1,479,082
-----------------------	-----------

標茶町共同募金委員会へ募金

7月26日(金)に、標茶高等学校ボランティア部長が当センターに来所し、ボランティア部として小物雑貨等を手作りし、学校祭で販売した収益金を、赤い羽根共同募金へ募金をいただきました。

愛情銀行預託状況

(敬称を省略させていただきます)

(物品預託) 令和元年7月15日～令和元年8月14日

住所	氏名	預託内容
	匿名	ぬいぐるみ等

皆さまの善意ありがとうございました。

【発行】



社会福祉法人標茶町社会福祉協議会
標茶町川上10丁目1番地 標茶町総合社会福祉センター内
電話 485-2503 ファクス 485-1679

HP: www.shibeche-shakyo.jp

標茶町社会福祉協議会新役員体制について

任期満了に伴い、理事と監事の選任が行われ、令和元年度の新執行体制が下記のとおり決定いたしましたので、お知らせいたします。

今後とも旧にも倍するご指導とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

<理事・監事>

会長	加藤 孟 (再任)
副会長	千葉 誠治 (再任)
	松口 康弘 (再任)
	鈴木 一幸 (再任・新)
理事	阿部 信行 (新任)
	飯田 徹 (新任)
	生田 健 (新任)
	江口 サチ子 (再任)
	菊地 信行 (再任)
	齊藤 壽久 (再任)
	佐藤 典正 (新任)
	穴戸 力 (新任)
	神 義光 (再任)
	妹尾 茂樹 (再任)
鳴川 昌侑 (新任)	
林 博 (再任)	
吉田 武 (再任)	
監事	山澤 正広 (新任)
	細川 充洋 (新任)

任期：令和元年6月27日～令和3年定時決算評議員会終了時まで

- ・退任理事：庄 司 心 夫 (前副会長) 梅 田 久 夫
及 川 洋 介 工 藤 重 太
佐々木 健 高 橋 政 寿
- ・退任監事：伊良子 一 夫 谷 川 昭 雄



【社協職員と介護支援専門員を募集】

町社協は、今年11月1日から勤務可能な事務職員と介護支援専門員をそれぞれ1人募集します。

事務局職員は40歳以下で、社会福祉士有資格者か来年3月までに取得見込の方。介護支援専門員は55歳以下で介護支援専門員の有資格者。事務局職員は町内に居住可能なことが条件。

【問い合わせ】 標茶町社会福祉協議会 電話 485-2503